



ふじみ野市の概要について

ふじみ野市 総合政策部 経営戦略室

ふじみ野市の概要について

- ▶ 地勢・歴史
- ▶ 最上位計画について
- ▶ 人口について
- ▶ 市民意識調査の結果

地勢・歴史

【ふじみ野市近隣地域図】



ふじみ野市位置図



地勢

- ◆面積は14.64km²
- ◆都心から30km圏内
- ◆北と西は川越市、南は三芳町、東は富士見市に隣接
- ◆東部に国道254号バイパス、西部に関越自動車道、ほぼ中央に国道254号
- ◆市の玄関口は、東武東上線上福岡駅が立地

歴史

- ◆江戸時代：川越街道六宿場の一つ「大井宿」として栄えた。また、新河岸川では福岡河岸に3軒の回漕問屋が開設され、川越と江戸とを結ぶ舟運の拠点としてにぎわった。
- ◆昭和30年代半ば：住宅開発の進行や企業の進出が続き、急速に都市化が進展した。
- ◆平成17年10月1日に「ふじみ野市」が誕生した。

最上位計画について

【策定の背景】

平成20年には、合併後のまちづくりの指針として、地方自治法に基づき平成20年度から平成29年度までの10年間を計画期間とする「ふじみ野市総合振興計画・基本構想」を策定し、「自信と誇りそして愛着のあるまち ふじみ野」を将来像としてまちづくりを進めてきました。

この間、平成23年の地方自治法の改正により、基本構想は、法律上の策定義務がなくなり、策定については市町村の判断に委ねられることとなりました。

本市においては、平成26年6月、自治の基本理念、基本原則を定め、市民参加と協働による市民主体の自治を推進することを目的とする「ふじみ野市自治基本条例」を制定し、この中で市政運営の指針となる総合的な最上位計画を策定することを位置付けました。

平成30年度を計画始期とする新たな最上位計画

「ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030」 を策定

最上位計画について

【自治基本条例制定】

【条文抜粋】

第1条（目的）

この条例は、ふじみ野市（以下「市」という。）の自治の基本理念及び基本原則を定め、市民の権利及び責務並びに市議会、市議会議員、市長等及び市の職員の責務を明らかにするとともに、市政運営の基本的事項を定めることにより、市民の参加と協働による市民主体の自治を推進し、もって豊かで住みよいまちを実現することを目的とする。

最上位計画について

【まちの将来像】

将来像は、市の将来のあるべき姿を明示するもので、これからのまちづくりに対する市民共有の目標となるものです。

まちづくりの理念「安全と安心」「地域力」「環境」を大切に
した市政運営を進めることにより、目標年次である平成42年
(2030年)に向けて“まちの将来像”を、次のように定めます。

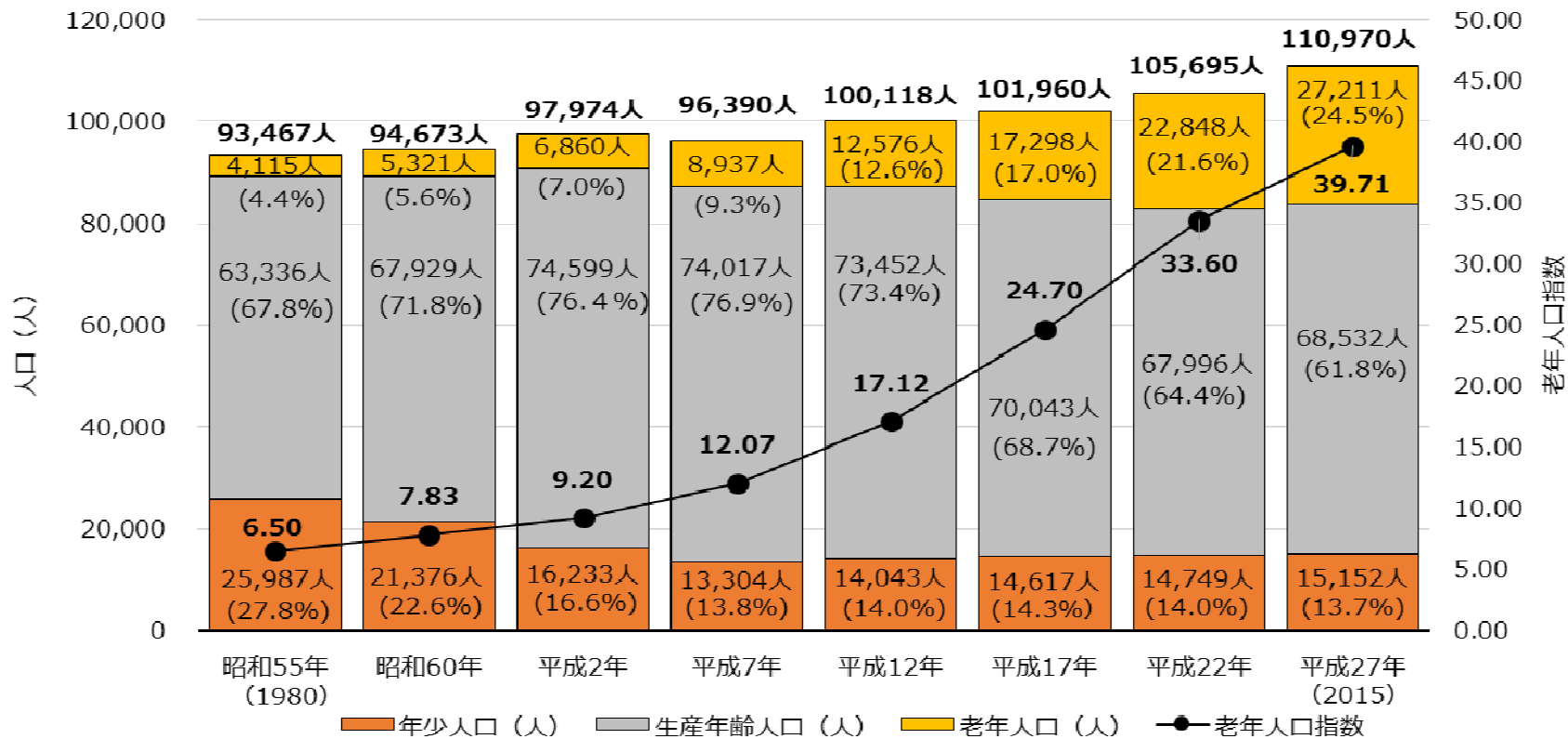
将来像

人がつながる
豊かで住み続けたいまち
ふじみ野

人口 ~ 人口の構成

【ふじみ野市の人口と人口構成】

◆0~14歳の人口増加率 県内1位
 ◆15歳~64歳の人口増加率 県内2位
 (平成27年1月1日現在)

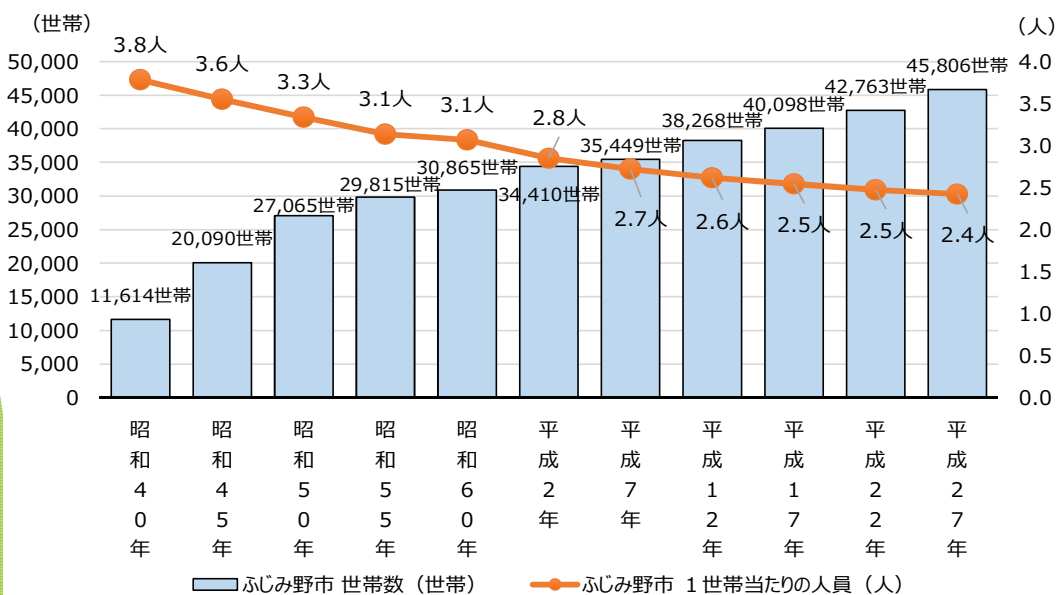


※国勢調査において、生年月の記載がなく年齢が不詳である人口は、人口の総数に含むが、人口構成には含まれないため、人口の総数と人口構成の総数は一致しない。

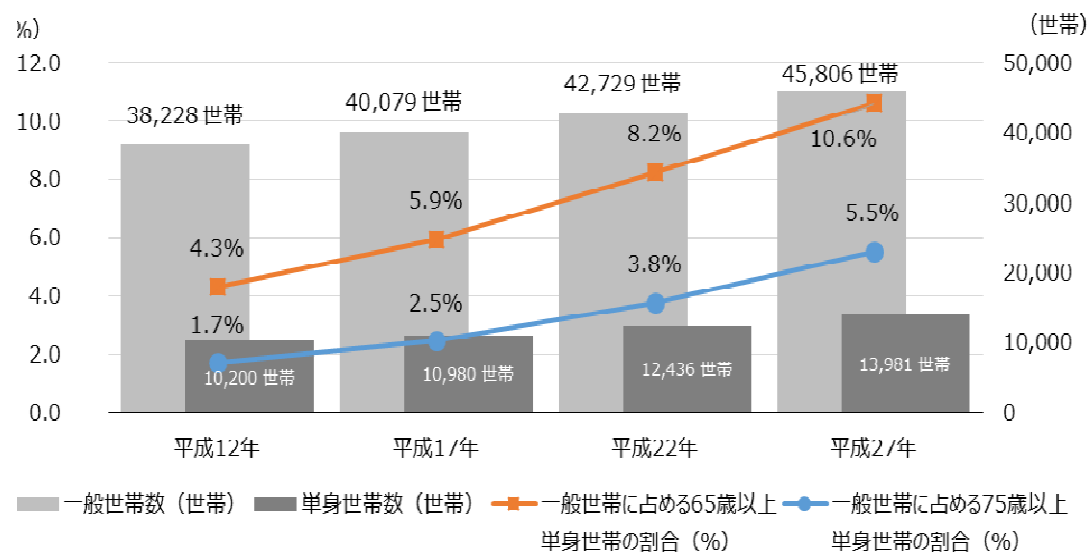
「国勢調査」から作成

人口 ~ 世帯数

【世帯数と一世帯当たりの人員の推移】



【65歳以上、75歳以上単身世帯割合の推移】



「国勢調査」から作成

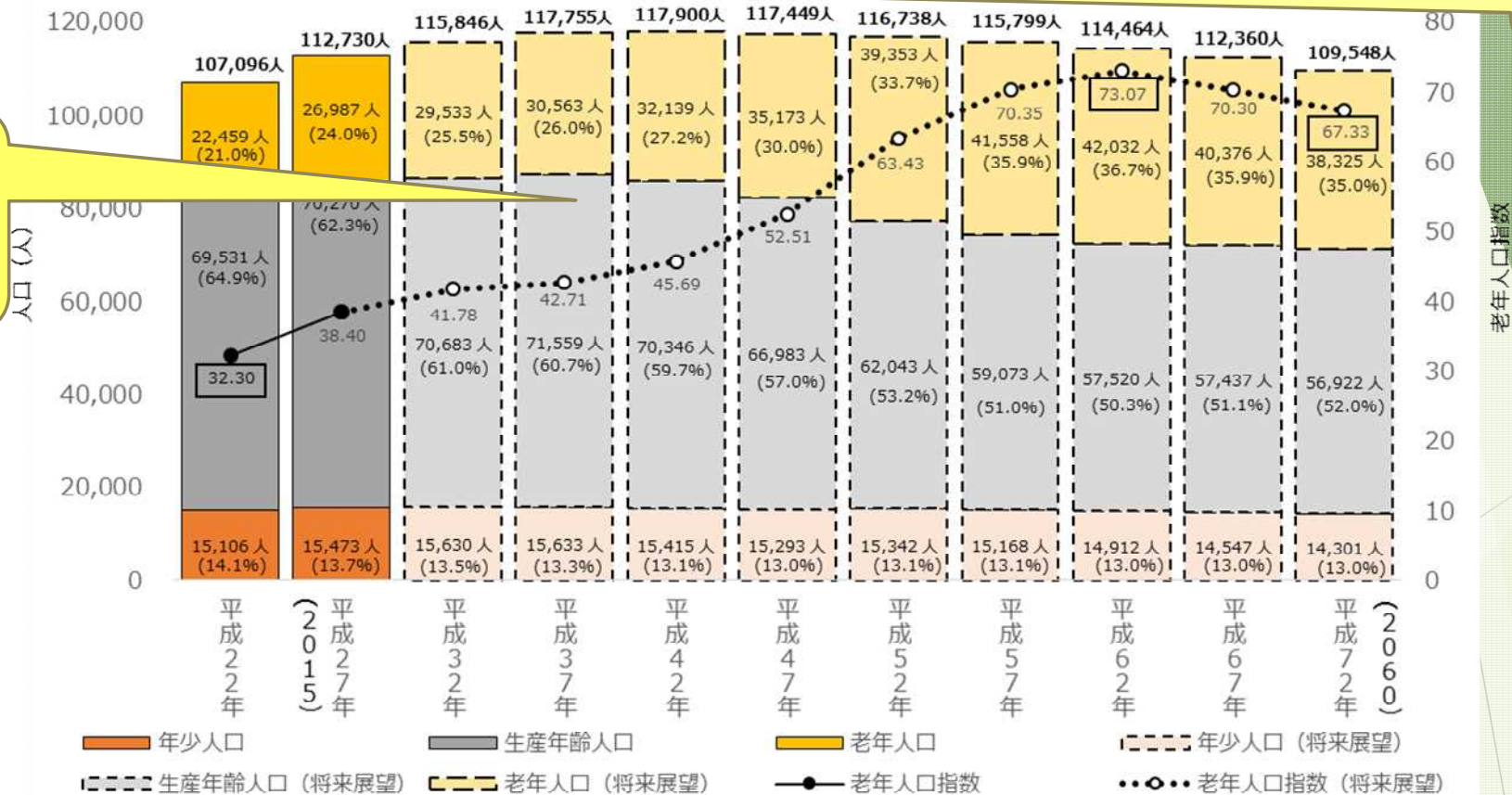
- 本市の世帯数は継続的に増加している。
- 1世帯当たりの人員数は低下を続け、昭和40年の3.8人から、平成27年には2.4人にまで減少している。
- 単身世帯も増加し、高齢者の単身世帯割合は、平成27年と平成12年を比較すると、約3倍。

人口 ~ 人口推計

【ふじみ野市の人口と人口構成】

平成42年の
117,900人
をピークに減
少

平成37年を
ピークに生産年
齢人口は減少

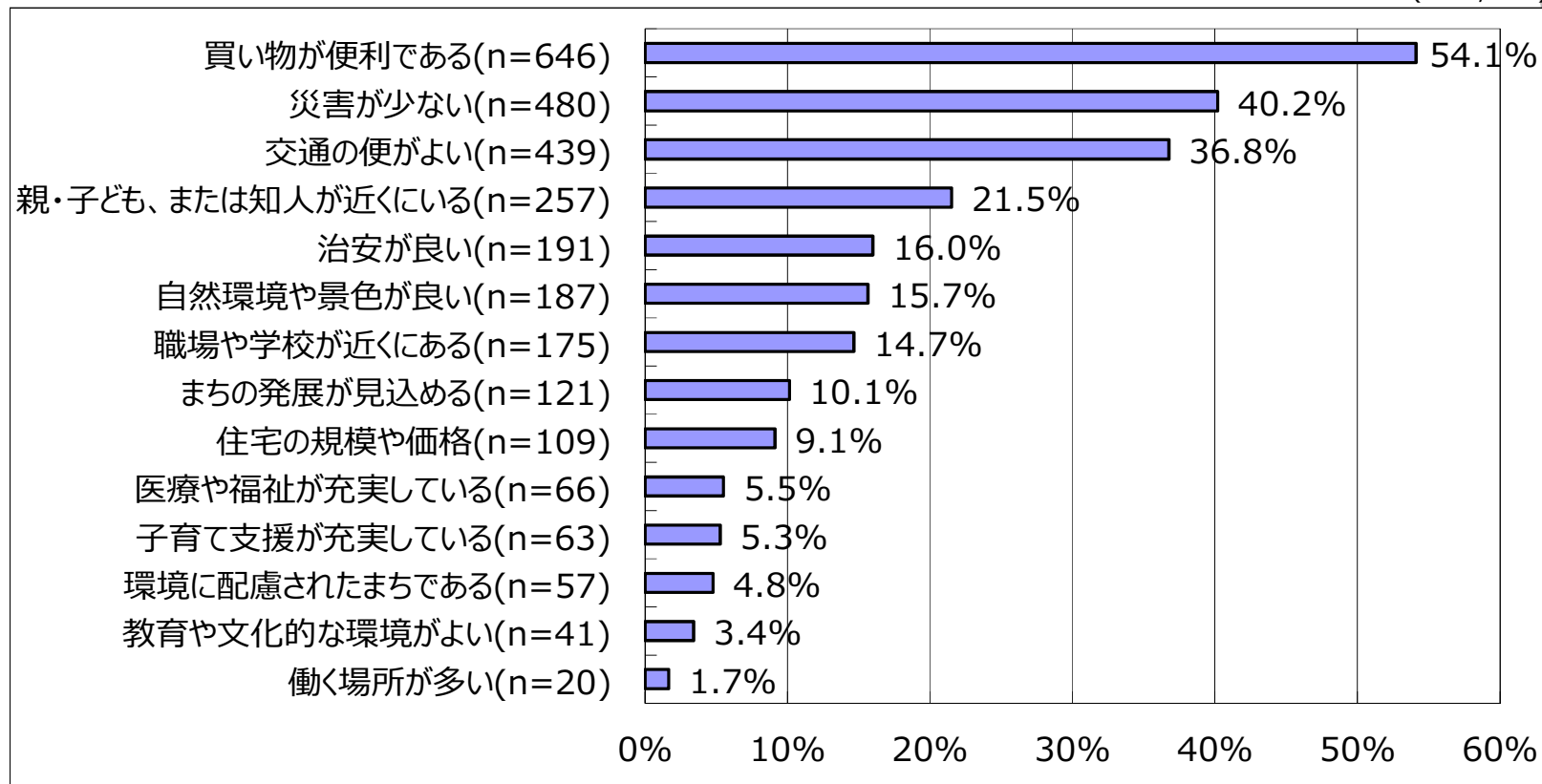


「国勢調査」から作成

市の特徴 ～ 市民意識調査の結果

【問】 ふじみ野市にお住まいになっていて、どのような
点に魅力を感じていますか。

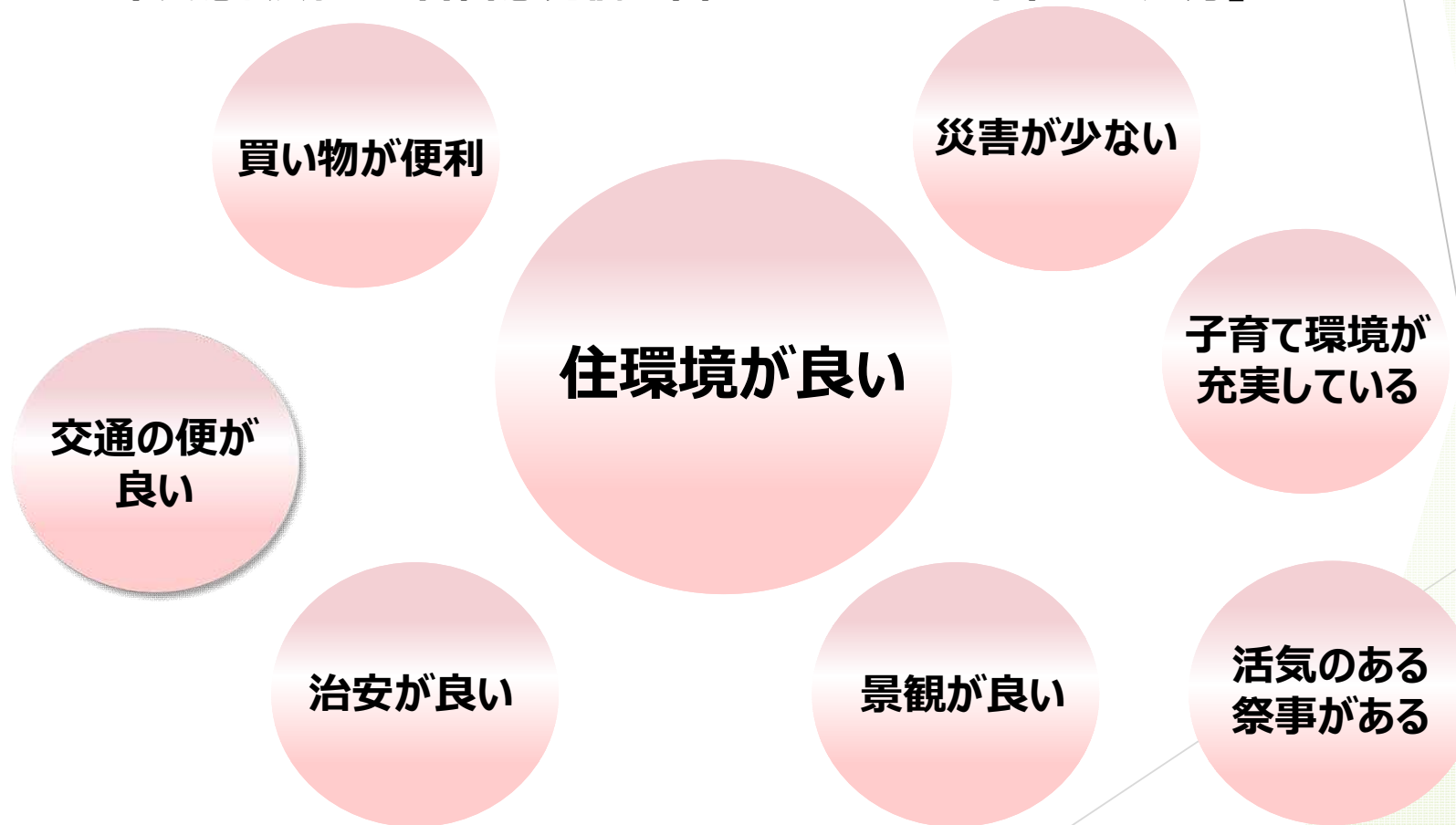
(n=1,194)



※ 「(n=数値)」と明記されている数値は、各設問の回答者数の合計（複数回答可）

市の特徴 ～ 市民意識調査の結果

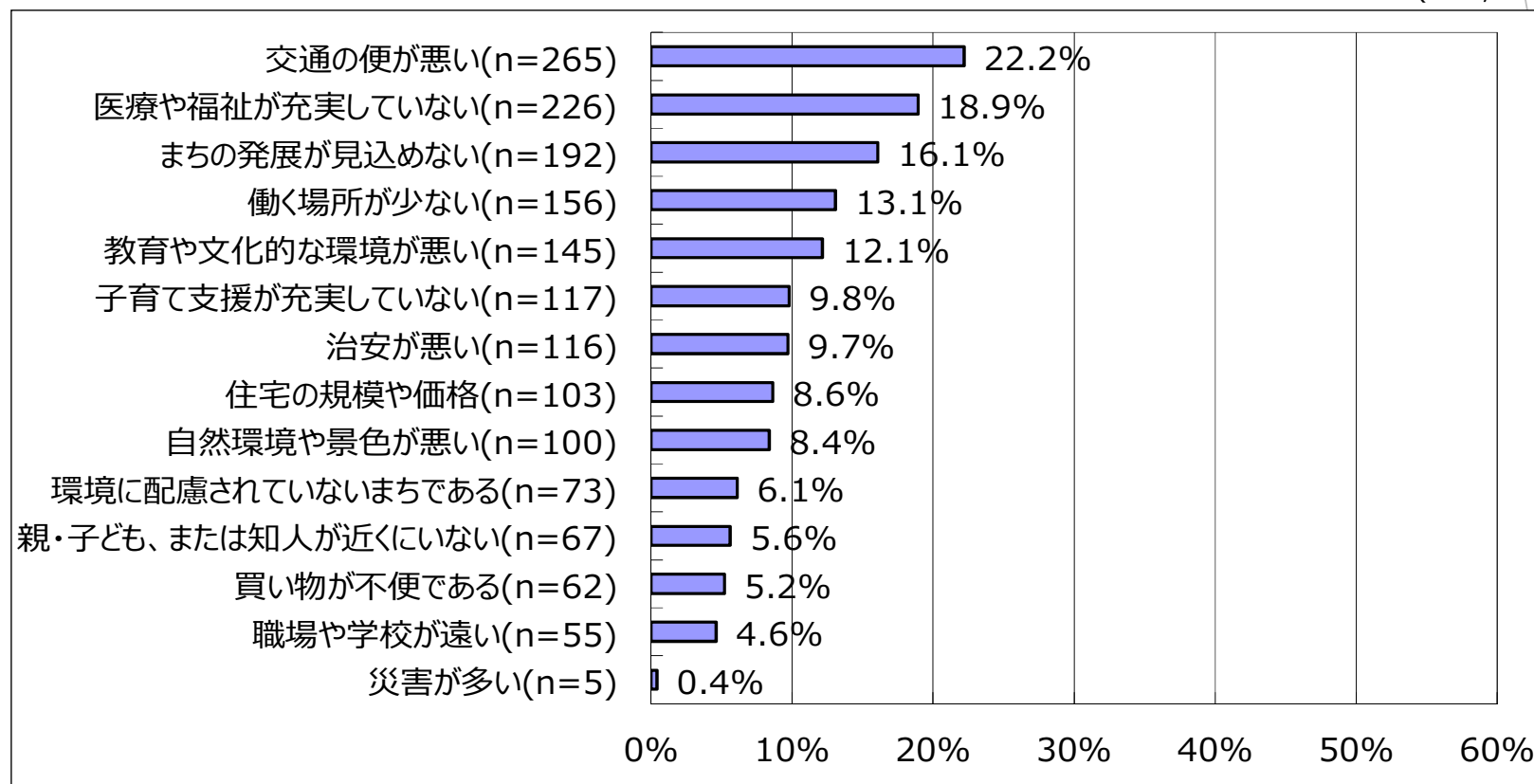
市民意識調査の自由意見欄で出されたふじみ野市の「魅力」



市の特徴 ～ 市民意識調査の結果

【問】ふじみ野市にお住まいになっていて、どのような点に不満を感じていますか。

(n=1,194)



※「(n=数値)」と明記されている数値は、各設問の回答者数の合計（複数回答可）

ご参考

～住みよさランキング2016～

東洋経済新報社（813市区【790市・23区】中）

総合評価 87位	埼玉県で1位 (関東1都6県で16位)	2015年 = 埼玉県1位 2014年 = 埼玉県2位
安心度	○病院・一般診療所病床数（人口当たり）○介護老人福祉施設・介護老人保健施設定員数（65歳以上人口当たり）○出生数（15～49歳女性人口当たり）○保育施設定員数－待機児童数（0～4歳人口当たり）	
利便度	○小売業年間商品販売額（人口当たり）○大型小売店店舗面積（人口当たり）	
快適度	○汚水処理人口普及率○都市公園面積（人口当たり）○転入・転出人口比率○新設住宅着工戸数（世帯当たり）	
富裕度	○財政力指数○地方税収入額（人口当たり）○課税対象所得額（納税者1人当たり）	
住居水準充実度	○住宅延べ床面積（1住宅当たり）○持ち家世帯比率	